

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010050

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 成人保健の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	エキノコックス症検診	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	14 国保病院	
事業指標	検診受診率		#N/A	
事業目標	30%	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	有 検診の受診等の健康維持に資する行動の実践	関係例規・法令名	有 北海道エキノコックス症対策実施要領	
		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	北海道地方特有の感染症として検診による早期発見治療、感染予防に対する知識の普及を図る。	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及	エキノコックス症検診 感染予防に対する知識の普及
	事業費(千円)	1,375	275	275	275	275
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	1,375	275	275	275	275	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	339	193	146	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	339	193	146			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診9回 受診者数 125名 個別検診 受診者数 54名 受診率 20.1%	(実施内容等) エキノコックス症検診 集団検診9回 受診者数 85名 個別検診 受診者数 51名 合計 133名 受診率 14.9%	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	30%	30%	30%	30%
		年度達成率	70%	53%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	14%	25%	25%	25%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆			

事業名	エキノコックス症検診	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	河原真由美

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	小学校3年生以上の町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	検診受診率	
【抱える課題やニーズは】	エキノコックス症に感染する危険性がある	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	エキノコックス症の感染を早期に発見し適切な対応ができる	① 検診受診率	目標年度	平成26年度
			目標値	30%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	エキノコックス症を早期に発見することで健康的に過ごすことができる	② 検診受診率(前年比)	実績値	14.9%
			達成度	49.7%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	集団検診の実施	特定健診等健康審査、がん検診等の集団検診(検)と合わせてエキノコックス症検診を実施した。他健(検)診申込時にエキノコックス症検診の受診履歴を確認し必要に応じて受診勧奨を実施した。		
	個別検診の実施	雄武町国保健康保険病院、山口クリニック、遠軽厚生病院と検診対象者の確認等連携をとりながら個別検診を実施した		
	二次検診の調整	二次検診対象者へ、北海道が実施する二次検診について保健所と連絡をとりながら受診勧奨、日程調整等を行った		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	北海道エキノコックス症対策実施要領に基づき、市町村は検診実施の義務がある
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	検診は5年毎に対象となるため、年度により受診者数、受診率の差異がある。今年度は昨年よりも受診率が低下した。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	特定健診、医療機関における個別健診と同時実施することで作業を軽減し、効率的に辞しすることができた。また、医療機関の協力により職場健診受診者への受診勧奨を実施することで効率性を高めることができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	受益者負担はない。広報や町ホームページ等により町民に広く検診実施を周知し、公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
受診率が低下したが、他健(検)診と同時受診が可能とし、勧奨も合わせて行う等情報提供を増やし対応した。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
受診率の向上を目指し、周知方法の工夫を図りながら事業実施を行う。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止